

欧州運輸大臣会議(European Conference of Ministers of Transport ECMT)

1 . 経緯

欧州地域(中東欧を含む。)における国際内陸輸送の効率的利用と合理的発展のための運輸政策(陸上交通、域内海運・航空)に関する、ハイレベルかつ自由な意見交換を行うために53年に設立され、日本は69年より準メンバーとして加盟した。

2 . 目的

ECMT 議定書第3条はECMTの目的を次のように規定している。

- ・国際的に重要な欧州の内陸輸送について最大限の発展を図るため必要な措置をとること
- ・欧州内陸輸送に関する諸国際機関の活動を調整・促進すること

3 . 加盟国等

1) 加盟国(計43カ国)

アルバニア、アルメニア、オーストリア、アゼルバイジャン、ベラルーシ、ベルギー、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ブルガリア、クロアチア、チェコ、デンマーク、エストニア、ユーゴスラビア、フィンランド、フランス、マケドニア、ドイツ、グルジア、ギリシア、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イタリア、ラトヴィア、リヒテンシュタイン、リトアニア、ルクセンブルグ、モルドヴァ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、ロシア、スロヴァキア、スロヴェニア、スペイン、スウェーデン、スイス、トルコ、ウクライナ、イギリス、マルタ

2) 準加盟国(計7カ国)

オーストラリア、カナダ、日本、韓国、ニュージーランド、アメリカ、メキシコ

3) オブザーバー(計1カ国)

モロッコ

4 . 活動の概要

1) 運輸政策の協議

大臣会合において決定された検討すべき政策課題を各専門家会合において検討し、代表者会議を経て大臣会合に提出。

2) 調査研究

- a . シンポジウム(大きなテーマについて3年に1度開催される)
- b . ラウンド・テーブル(テーマを絞って少人数で行う研究会。随時開催)
- c . セミナー(ラウンド・テーブルよりは政策的色彩の強いテーマについて開催される。随時開催)

2005年3月に東京で「持続可能な都市交通ワークショップ」を開催する予定

3) 運輸経済・政策関係の文献資料のデータベースの整備